

こどもに関する情報・データ連携 副大臣プロジェクトチームにおける  
主な検討事項

1. こどもに関する情報・データ連携の在り方

- 行政の各部局や学校・児童相談所・医療機関等の関係機関の、妊娠期から20歳頃までの成長・発達に渡る情報を、必要に応じて連携させ、真に支援が必要なこども・家庭の発見や、ニーズに応じた支援を行う取組につなげるための情報・データの連携はどうあるべきか。
- その際、こどもに関する情報を自治体内（どのレベルか要検討）で包括的に把握する組織・連携の在り方や、こどもからのSOSの前兆を受け止める・拾い上げる仕組みのあり方についてどのように考えるか。

<関係省庁の役割分担（※）>

- ・デジタル庁：こどもに関する情報・データ連携の観点
- ・内閣官房：今後のこども政策全般に関する検討の観点
- ・内閣府：子供の貧困に関する研究会や調査研究事業・実証事業の観点
- ・厚労省：医療・福祉等の観点（健康情報、児童虐待情報等）
- ・文科省：教育の観点（スタディ・ログ、ライフ・ログ等）

2. デジタルを活用した包括的な子育て支援の在り方

- 子育て世代包括支援センターの取組を踏まえつつ、デジタルを活用し、窓口に赴かなくても適切な情報の入手や相談をすることができる支援はどうあるべきか。

<関係省庁の役割分担（※）>

- ・厚労省：子育て世代包括支援や地域子育て支援拠点の観点
- ・内閣官房：今後のこども政策全般に関する検討の観点
- ・デジタル庁：デジタルやデータ連携の観点

3. こどもに関する政策の可視化の在り方

- AI等でこどもに関する政策、予算、統計等を可視化するためのデータ利活用やデータの質はどうあるべきか。
- 例えば、手当等のワンストップ化（支援の対象となる家庭への手当の支給手続、就学前施設についての分かりやすい情報発信など）に向けた政策はどうあるべきか。

<関係省庁の役割分担（※）>

- ・内閣官房：今後のこども政策全般に関する検討の観点

- ・厚労省：保育・福祉等の観点
- ・文科省：教育の観点
- ・デジタル庁：デジタルやデータ連携の観点

(※) 役割分担については、こども政策の推進に係る政府全体の議論を踏まえ、今後、見直すこととする。

(以 上)